

演習 I

科目ナンバリング SEM-301

必修 2単位

西澤 保

1. 授業の概要(ねらい)

演習Iの授業内容・進め方は、学生とよく話し合いながら決めていく。演習Iでは、いくつかの基本的な文献、新聞のコラムなどを読みながら、基礎知識を深めると同時に、ゼミの学生相互の理解を深め、共通意識・関心を高める。イギリスとヨーロッパの現代社会、資本主義を日本と比較しながら、歴史的に検討する。合わせて経済学の基本的な考え方を学ぶ。基礎的な文献として、『経済学は人々を幸福にできるか』(宇沢弘文著、東洋経済新報社)、『資本主義の革命家、ケインズ』(R.E.バックハウス・B.W.ペイトマン著、栗林訳・西沢監訳、作品社)、ピーター・クラーク著、西沢他訳『イギリス現代史』(名古屋大学出版会)などの部分、そして新聞のコラムなどを考えています。

2. 授業の到達目標

イギリスとヨーロッパの現代社会、資本主義のいくつかの側面について、日本と比較しながら、理解を深めていただく。経済学の基本的な考え方を理解していただく。ゼミの学生同士が議論をし、理解と関心をともに高めていただく。一定の文章の読解力、まとめる力、プレゼンテーション能力などを高めていただく。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(55%)、レポート(45%)とし、総合的に評価する。演習なので積極的に参加すること、平常点を重要視する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

宇沢弘文 『経済学は人々を幸福にできるか』 東洋経済新報社
バックハウス、ペイトマン著、栗林訳・西沢監訳 『資本主義の革命家 ケインズ』 作品社

5. 準備学修の内容

指示する文献、配布するプリントなどをよく読むこと。

6. その他履修上の注意事項

演習に積極的に参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 演習の参加者を相互に知るための自己紹介など
- 【第2回】 演習の進め方
- 【第3回】 イギリス・ヨーロッパ現代社会の諸問題についての輪読・報告
- 【第4回】 イギリスとEU統合をめぐる問題1
- 【第5回】 イギリスとEU統合をめぐる問題2
- 【第6回】 全体討論
- 【第7回】 ケインズ、経済思想と現代資本主義社会についての輪読・報告
- 【第8回】 ケインズの資本主義観と道徳哲学
- 【第9回】 ケインズの資本主義観と道徳哲学
- 【第10回】 全体討論
- 【第11回】 イギリス・ヨーロッパと日本の比較-歴史的検討
- 【第12回】 イギリス・ヨーロッパ経済と日本経済の比較1
- 【第13回】 イギリス・ヨーロッパ経済と日本経済の比較2
- 【第14回】 全体討論
- 【第15回】 まとめ